

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 <連絡先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
 平日9:00-17:00 オペレーター対応
 <郵送先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 公告方法 電子公告
 (https://www.miraca.com/)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式をお持ちの場合	特別口座*の場合
住所変更		
単元未満株式の買取・買増請求	お取引のある証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の受取方法	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)	

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていなかった株主さまの株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。



【表紙の作品について】

表紙の絵は、Aricaさん作「紅葉の世界」(パラリンアート作品)です。

※「パラリンアート」とは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する、一般社団法人障がい者自立推進機構による活動です。みらかグループは「パラリンアート」を支援しております。

みらかホールディングス株式会社

〒163-0408 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング
 お問い合わせ: コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR部 TEL 03-5909-3337
<https://www.miraca.com/>



第70期 中間株主通信

2019.4.1 ▶ 2019.9.30

70th First-half Business Report

証券コード: 4544



臨床検査薬事業



新規育成事業およびその他



受託臨床検査事業



滅菌関連事業



Contents

グループメッセージ	2
Top Message	3
連結財務ハイライト	5
セグメント別情報	6
TOPICS	7
特集 ESG活動(CSR)の推進	9
IRニュース	11
会社概要	13
株式の状況	14

人と医療のまんなかで、

私たちの仕事、
それは何百万、何千万というからだのデータを通して、
そして医療の現場で、人々の健康を見守っている仕事です。

その仕事は、表に見える仕事ではないけれど、
今日も人々と医療の間で健康を支えている。

私たちには、私たちだけが見えている未来があります。
それはたくさんのデータが教えてくれる、いのちの未来。

大きな世の中の変化の中で、
私たちにしかつくりだすことができない、健康の未来。

私たちは、見つけたい。
誰もが健康で長く生きられる社会のために、
まだ誰も気づいていない、人間のからだの可能性を。

私たちは、動きだす。
見守るだけでなく、何が大切かを自らが見つけ出し、
人々と医療の進歩を、確かな信頼でつなげていくために。

人と医療のまんなかで、
変わらない使命のために、
私たちはひとつになって、変わり続ける。

Top Message

持続的成長とさらなる 企業価値向上を目指します

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年3月期中間期の業績概況

当中間期の業績につきましては、売上高は934億80百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は57億58百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

売上高は、受託臨床検査事業において新規獲得顧客および遺伝子関連検査をはじめとした特殊検査の新規項目等の売上増加、滅菌関連事業における契約価格の見直しおよび設備機器や消耗品等の販売伸長、また、新規育成事業およびその他において2019年2月に買収した株式会社セルメスタの業績の寄与等、日赤事業の契約終了による減収影響があった臨床検査薬事業を除いた全セグメントで増収となりました。その結果、2017年11月に売却したMiraca Life Sciences, Inc.（米国病理検査事業）の影響を除く売上高は中間

みらかホールディングス株式会社
代表執行役社長 兼 グループCEO

竹内 成和

期としては過去最高を更新いたしました。一方、利益面では減価償却費の増加に加え、日赤事業の契約が終了、並びに大口顧客獲得に伴う先行費用が発生したこと等により減益となりました。

また、営業利益が減少したことに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億44百万円（前年同期比43.1%減）となりました。

中期計画の進捗

当年度は中期計画『Transform! 2020』の最終年度として、将来の飛躍的かつ持続的な成長に向けた諸施策に継続して取り組んでいます。

受託臨床検査事業では、開業医市場でのITツールや新規サテライトラボラトリーの活用、院内検査市場での臨床検査薬事業とのシナジーの強化を図ります。また、健診市場での企業健康保険組合との接点の活用により、より一層の顧客基盤の拡大を目指します。

臨床検査薬事業では、国内ルミパルス事業において日赤事業の契約終了による収益減少を見込んでおりますが、既存顧客との取引拡大やOEM・原材料事業のさらなる成長により迅速な収益性改善に取り組みます。

滅菌関連事業では立川滅菌センターの老朽化に伴い、日の出滅菌センターを新設し、9月に全面移転を完了いたしました。病院において手術の準備工程を担当する中央材料室に対し、中核事業である滅菌サービスを強化するとともに、設備機器や消耗品等の販売も含めた全面的なソリューションを提供することにより、今後もさらなる売上高成長を実現します。

将来の新たな事業の柱を育むことを目指した新規育成事業においては、食品・環境・化粧品検査事業を担当するみらかヴィータス株式会社を設立し、2019年6月より事業を開始いたしました。

長期的な成長に向けて

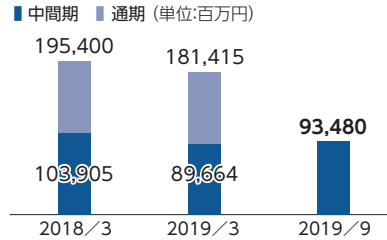
今後、日本では少子高齢化を主要因として社会保障財政が厳しくなることが見込まれ、医療を取り巻く環境はますます厳しさを増していくものと想定されます。そのようななか、みらかグループが持続的な成長を実現するために、公的医療制度でカバーされる領域の外にも意欲的に事業を拡大し、より一層の企業価値向上を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結財務ハイライト

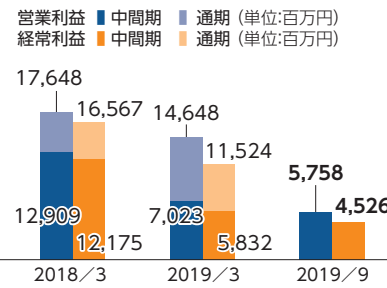
売上高

売上高
934億80百万円
前年同期比 4.3%増



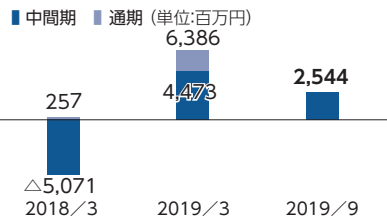
利益

営業利益
57億58百万円
前年同期比 18.0%減



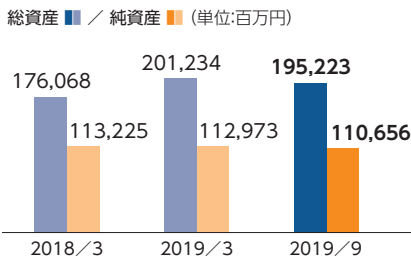
経常利益
45億26百万円
前年同期比 22.4%減

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益/損失
25億44百万円
前年同期比 43.1%減



資産

総資産
1,952億23百万円
純資産
1,106億56百万円



前中間期からの主な増減

売上高は、臨床検査薬事業において日赤事業の契約終了による減収があったものの、受託臨床検査事業における新規獲得顧客および遺伝子関連検査の拡販等による増収、滅菌関連事業での増収、また、新規育成事業およびその他において2019年2月に買収した株式会社セルメスタの業績が寄与したことなどから、増収となりました。

利益面では、前中間期において施設環境改善、業務効率化、コンサルティング費用等の一過性の費用が発生した影響があった一方、当中間期において減価償却費が増加したこと、臨床検査薬事業における日赤事業の契約が終了したことおよび大口顧客獲得に伴う先行費用が発生したこと等により、各利益にて減益となりました。

前期末からの主な増減

当中間期末の総資産は、流動資産その他の増加、受託臨床検査事業における検査機器等の有形固定資産の増加、ソフトウェア等の無形固定資産の増加等があった一方、現金及び預金の減少等により1,952億23百万円となりました。

また、純資産は23億17百万円減少し、1,106億56百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は0.6%増加し、56.6%となりました。

セグメント別情報

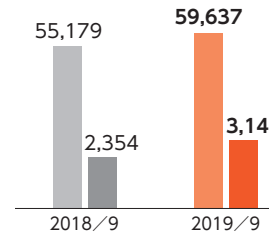
受託臨床検査事業



開業医および院内事業における新規獲得顧客、および遺伝子関連検査をはじめとした特殊検査等の新規項目の売上増により、増収となりました。

利益面では、減価償却費の増加および中国展開のための費用が発生しましたが、前中間期に一過性の費用が発生した影響等により増益となりました。

売上高 / 営業利益 (単位:百万円)



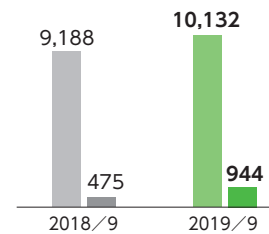
滅菌関連事業



売上面では、契約価格の見直し、および設備機器や消耗品等の販売が伸長したこと等によって増収となりました。

利益面では契約価格の見直し等により増益となりました。

売上高 / 営業利益 (単位:百万円)



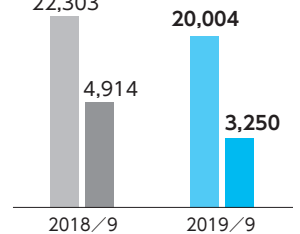
臨床検査薬事業



ルミパルス事業において、欧州等の海外での売上が伸長した一方、国内における日赤事業の契約終了の影響により減収となりました。

利益面では、前中間期に一過性の費用が発生した影響があった一方、日赤事業の契約が終了したことおよび大口顧客獲得に伴う先行費用が発生したこと等により減益となりました。

売上高 / 営業利益 (単位:百万円)



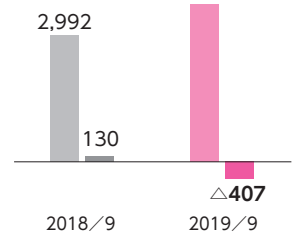
新規育成事業およびその他



売上面では、在宅・福祉用具事業の伸長、および2019年2月に買収した株式会社セルメスタの業績が寄与したこと等により増収となりました。

利益面では、各事業への先行費用が発生したことにより減益となりました。

売上高 / 営業損益 (単位:百万円)



※当期より、事業セグメントの区分を変更しております。各事業セグメントの前中間期の数値については変更後のセグメント区分に組み替えた数字を表示しており、前年同期比較についても組み替えた数値にて比較しております。

中国深圳(シンセン)に検査ラボラトリーを開設

みらかグループは重点戦略のひとつとして「海外戦略の強化」を掲げ、中国最大の保険会社である中国平安保険（集団）グループと合併会社 Ping An SRL Medical Laboratoriesを設立しました。同社が2019年8月に開設した深圳市の検査ラボラトリーを中心に中国での事業拡大を目指します。

近年中国では、高齢化、疾病構造の変化、経済成長などにより受託臨床検査市場は急速に拡大しています。同時に、高度で信頼性の高い医療・健康サービスへのニーズが日進月歩で高まっています。Ping An SRL Medical Laboratoriesは、みらかグループが受託臨床検査事業において培ってきた技術力・ノウハウと、中国平安保険グループの持つ顧客資産や営業力を合わせることで、中国市場での高品質な受託臨床検査サービスの提供を目指します。

2019年8月には、広東省深圳市に教育研修センターを兼ねる検査ラボを開設しました。みらかグループは本施設を活用し、平安グループが中国全土に展開していく検査ラボに対して、開設・運営に係るコンサルティングサービスを提供していきます。また、各検査ラボに向けて、当グループの検査機器・試薬を継続的に供給することで収益拡大を見込んでいます。

今後は、深圳検査ラボを中心に、中国での受託臨床検査の品質の向上と医療の発展に貢献していきます。



深圳検査ラボラトリーの開設セレモニー



深圳検査ラボラトリーの内観

食品・環境・化粧品検査事業への再参入

みらかグループは、医療領域で培った技術を活かした新規事業の育成にも取り組んでいます。

その一環として、みらかヴィータス株式会社を設立し、2019年6月に食品・環境・化粧品検査事業を開始しました。

特に食品検査においては、今後成長が見込まれる遺伝子検査、アレルゲン検査等を中心に当社の強みを応用し、事業拡大を図っていきます。



みらかヴィータス株式会社での検査の様子

人材の多様性を推進

みらかグループは、人材の多様性を推進し、多様な人材が持つ能力を企業の成長や新たな価値の創造に活かすことを目指しています。

その一環として2019年4月、障がい者雇用促進を目的としてみらかキャスト株式会社を設立、同年5月には障害者雇用促進法に定める特例子会社の認定を受けました。

今後もグループ全体で多様な人材の採用・活躍を積極的に進めるとともに、障がい者の自立や社会参加を積極的に支援していきます。



みらかキャスト株式会社のオフィスにて

ESG活動(CSR)の推進

ステークホルダーとの良好な関係構築を目指す

2019年4月、これまでのCSR理念・方針を一新し、グループとしての考え方を新たに制定しました。これにより、企業活動を通じて社会課題に取り組む姿勢を明らかにしました。

CSRの考え方

みらかグループは、「企業理念」、「目指す姿」、「価値観・行動様式」を理念体系として定め、これに基づく企業活動を通じてCSRが実現出来ると考えます。この活動により社会課題の解決に取り組む、幅広いステークホルダーと良好な関係を構築いたします。

CSRの推進状況

CSR推進体制を見直し、新たに「みらかグループCSR委員会」を発足しました。同委員会のもと、環境・社会分野における領域別の部会を設置し、テーマ毎の取り組みをスタートさせるとともにCSRの各方針を整備しました。



2019年度八王子事業所での夏祭りにて地元の医療法人社団KNI様のブースを出展

【CSR推進体制】



ソーシャルボンドの発行

みらかグループは、新セントラルラボラトリーの建設（あきる野プロジェクト）を進めておりますが、2019年10月、本プロジェクト等への資金を調達する目的で、ソーシャルボンド（社会貢献債）を発行いたしました（発行額：200億円）。

ソーシャルボンドとは、社会課題の解決に資するプロジェクトに資金を使用するための債券で、国際資本市場協会（International Capital Market Association）が定めるソーシャルボンド原則に則った債券です。私たちは、現在建設中の新セントラルラボラトリーが稼働することで、検査費用の削減や効率化、検査品質の向上、さらには災害時の検査継続など、様々な社会改善効果が期待できると考えています。本ソーシャルボンドの発行を通じ、みらかグループが行う企業活動の社会的意義を広く認知いただくことにより企業価値の向上を目指します。



建設中の新セントラルラボラトリー

「みらかグループ健康宣言」の制定

みらかグループでは、働きがいのある企業風土づくりや多様な人材の採用を進めるなか、従業員の健康管理も重要な経営課題と捉えています。

今年度より「健康経営」への取り組みを強化し、10月には「みらかグループ健康宣言」を制定いたしました。今後は従業員およびその家族が心身ともに健康であることを目指し、様々な施策を進めます。

その取り組みのひとつとして、10月1日より国内すべてのグループ会社および事業所にて就業時間内の全面禁煙を開始しました。従業員向けに禁煙サポートプログラムも実施しています。



IRニュース

グループ初となる統合報告書を発行しました

2019年3月期より、みらかグループの事業と持続的な成長に向けた取り組みについて、ステークホルダーのみなさまにより一層ご理解を深めていただけるよう、グループ初となる統合報告書を発行いたしました。当社ウェブサイトよりご覧になれます。

〈統合報告書2019 特設サイト〉

https://www.miraca.com/ir/integrated_reporting/introduction.html



ESG投資のための株価指数の構成銘柄に選定されました

当社は、MSCI社*1が作成する株価指数で、ESG（環境、社会、ガバナンス）評価に優れた企業が選定される「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」*2、および「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」*3の構成銘柄に選ばれました。

両指数は、世界最大の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用するESG指数に採用されています。

*1：世界の投資家に対して投資意思決定をサポートする米国・ニューヨークに本拠を置く、金融サービス企業
*2：親指数（MSCIジャパンIMIトップ700指数）の構成銘柄の中から、ESG評価に優れた企業を選定する指数
*3：親指数（MSCIジャパンIMIトップ500指数）の構成銘柄の中から、MSCI社が開発した性別多様性スコアに基づいて、業種内で女性の雇用、継続、昇進および多様性の推進において優れた企業を選定する指数



女性向けIRイベントに参加しました

2019年9月7日、東京・丸の内にて開催された「SMBC日興 女性のための投資フォーラム2019」に参加いたしました。当日の会社セミナーでは、取締役 執行役兼CFOの北村より、みらかグループの事業について、ご説明をさせていただきました。また、展示ブースにも多くの方がお越しくださいました。

▽セミナーの動画は、以下SMBC日興証券のホームページよりご覧いただけます。

https://www.smbcnikko.co.jp/seminar/nikko_online/IR/index.html



個人株主さま向け施設見学会のご報告

2019年8月24日（土）にSRL Advanced Lab. Azabu（東京都港区）において、みらかホールディングスとしては初めて、個人株主さま向けに施設見学会を開催いたしました。当日は最高気温が30℃を超える真夏日にもかかわらず、午前の部24名、午後の部23名の個人株主さまがご参加くださいました。施設見学会では当グループの事業についてのご説明と検査を実施している施設をご案内しました。短い時間ではありましたが、「事業の内容が理解できた」「さらに事業に関心を持った」など、ご好評をいただいております。

今後も積極的に個人株主さまとの対話と交流の場として、このような施設見学会を継続してまいります。個人株主のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。



2020年冬 個人株主さま向け施設見学会のご案内

8月に引き続き、個人株主さま向けの施設見学会を以下の要領にて開催いたします。

※当選・落選結果は、ご応募いただきましたすべての個人株主さまの株主名簿にご登録の住所に郵送にてお知らせいたします。（2020年1月27日発送予定）

- 【対象者】 100株以上保有（2019年9月30日時点）の個人株主さま（ご本人）
- 【日程】 2020年2月22日（土）
①10:00～12:00
②14:00～16:00
- 【場所】 SRL Advanced Lab. Azabu
（東京都港区、都営大江戸線 赤羽橋徒歩4分）
- 【内容】 当社グループの事業説明および施設見学
- 【募集人数】 ①②各15名ずつ（合計30名）
- 【参加費】 無料（ただし、会場への往復交通費は各自のご負担とさせていただきます）

- 【応募方法】 1.同封の応募はがきでのご応募はがきに必要事項をご記入のうえ、ご郵送ください。
2.個人株主さま見学会応募サイトからのご応募
URL: <https://www.miraca.com/ir/kabu>
※はがきとインターネットによる重複応募につきましては、インターネットによるご応募を有効、またインターネットにより複数回応募された場合は、最後の応募を有効とさせていただきます。

【締切日】 2019年12月16日（月）消印有効
※応募サイトは17:30まで



【お問い合わせ】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
みらかホールディングス株式会社 個人株主さま向け施設見学会専用窓口
0120-181-121（通話料無料） 受付時間：9:00～17:00（土日祝日、12月31日から1月3日を除く）

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名 みらかホールディングス株式会社
 本社所在地 〒163-0408
 東京都新宿区西新宿2-1-1
 新宿三井ビルディング
 TEL: 03-5909-3335 (代表)

資本金 9,146百万円
 経営体制 指名委員会等設置会社
 従業員数 5,959名 (連結)

役員一覧 (2019年11月1日現在)

取締役



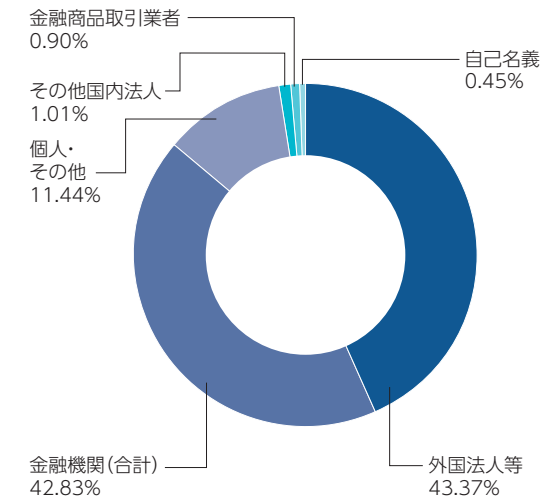
執行役



株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 57,387,406株
 1単元の株式数 100株
 株主数 8,788名

所有者別株式分布



大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数(千株)	持株比率(%)
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	6,247.9	10.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,099.1	8.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,793.0	8.39
株式会社みずほ銀行	2,132.1	3.73
第一生命保険株式会社	2,000.7	3.50
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.69
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	1,504.7	2.63
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HSD00	1,490.4	2.61
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U. S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,286.7	2.25
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.23

- (注) 1. 持株比率は自己株式255,538株を除いて計算しております。なお、自己株式には業績連動型株式報酬制度(役員報酬BIP信託)により当該信託が保有する株式149,200株は含まれておりません。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて信託業務に係るものであります。
3. 株式会社みずほ銀行の株式数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,131.5千株(持株比率3.73%)を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

配当金について

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要施策のひとつとして位置づけております。配当については、連結配当性向の基準を特別損益等特殊要因を除いた純利益の50%以上としております。当期の中間配当金は1株につき65円とし、年間配当金は130円を予定しております。

1株あたり配当金 (単位:円)

